

# 支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

支所名	樋脇支所	支所長名	鶴園信雄
-----	------	------	------

支所の 経営資源	支所関連の 主な予算				
	構成人員		職員	嘱託	計
		計	32人	16人	48人

支所の使命 (組織の存在価値)	<p>総合支所としての機能を発揮し、市民へ満足度の高いサービスを行うことである。</p> <p>(1)市民が安心・安全に暮らせる社会環境を創出する。</p> <p>(2)コミュニティ協議会の組織強化・自主運営を確立する。</p> <p>(3)産業振興のため各種事業の情報提供・支援に努め、経営の安定・市民所得の向上を目指す。</p>	組織目標像	<p>【施策の目標像】</p> <p>支所全課が連携を密にして、市の施策の情報提供と推進を積極的に行う体制の確立を目指す。</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>支所経営の経費節減と行財政の健全運営に資するため、市比野出張所の在り方を検討し、スリム化を目指す。</p> <p>(1)市民サービスの低下を招くことの無いように地区コミュニティを範囲としたサービスの在り方を検討する。</p> <p>(2)住民ニーズに的確・迅速・丁寧な対応と身近な相談窓口として頼れる支所を構築する。</p>
--------------------	--	-------	---

## 平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
目標と方針の支所内の共有化	使命遂行に向けた職員の意識改革 「市長五訓」認識の徹底	支所内・課内ミーティングの実施 内部情報システムの活用	<p>課内ミーティング(月1回定例)を課内全職員で開催し、情報の共有化及び経営改善に対する意識啓発を図った。</p> <p>課内会議(月曜日)をG長以上で開催し、業務の円滑化及びG間の協力体制を図った。</p> <p>課共有フォルダを有効活用して、業務の円滑化が図れている。</p> <p>市民への対応がしやすいように、机の向きを、カウンターに向けて配置した。(市民福祉)</p>	

# 支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

<p>接遇の励行</p>	<p>常に明るく笑顔で，懇切丁寧に 苦情のない支所 職員の安全・健康の保持</p>	<p>すぐに対応する，よく話を聞く， 進んで挨拶を交わす 早期治療 業務の平準化と定時退 庁の実践</p>	<p>市民と接する身近な窓口である ことを意識し，好感のもてる対応を 実践している。 税務の窓口カウンターの改善及 び閲覧席の設置により，スムーズな 業務遂行（証明発行・閲覧等）が図 られた。 事務分担に基づき，年間・月間ス ケジュールを作成し，職員間の協力 により，業務の標準化が図られた。</p>	
<p>職員のマナー，モラ ル，士気の向上，規 範の遵守</p>	<p>互いに指摘しあえる職場環境 「戒石銘」の理解・自覚</p>	<p>身だしなみを常に意識する 地域行事に積極的に参加する 職場から法令違反者を出さない</p>	<p>職員の服装，モラルについては， 随時周知し規範の遵守に努めてい る。</p>	
<p>高齢世帯の支援</p>	<p>地域相互扶助体制活動の強化</p>	<p>声掛け 粗大ゴミなど処理運搬の 地区コミの協力体制の推進</p>	<p>社会福祉協議会と連携し，地域の 見守り等協力体制の醸成に努めた。</p>	
<p>農業農村の振興</p>	<p>認定農業者の育成</p>	<p>経営規模拡大の推進 品目横断的経営安定対策加入の 推進 農業経営改善状況の進行管理 支 援活動</p>	<p>農地流動化により推進 倉野地区において品目横断的経 営安定対策に加入 担い手育成支援事業による巡回 指導の実施</p>	
	<p>新規作物の導入・育成</p>	<p>前年に引き続きエグ芋・サラダ玉 の定着 ハウス栽培による軟弱野菜の導 入及び育成</p>	<p>さといもについては50aの試験圃 を設けて栽培 軟弱野菜補助金交付決定に基づ き施設設置工事着工</p>	
	<p>イチゴの病害対策</p>	<p>炭素病予防による健全苗の供給</p>	<p>いちご親株の配布を計画</p>	
<p>畜産基盤の整備</p>	<p>農地・水・保全対策</p>	<p>4 地区 86ha の農道・水路の維持 管理に努め 更に作業内容等を充 実し，農地保全を行う</p>	<p>新規1地区が増え計5地区 95 h a の農道，水路の維持補修に努めた。</p>	
	<p>多頭畜産経営農家の安定と育成</p>	<p>各種補助事業の活用で飼料畑・畜 舎の改善で増頭の推進</p>	<p>本年度 1 名の事業参加決定，23 年度 1 名の参加予定</p>	

# 支 所 経 営 方 針

薩摩川内市

平成20年度

<p>商工観光の振興</p>	<p>市比野温泉杯サッカー大会 よさこい祭り・ホッケー大会</p>	<p>大会実行委員会・観光協会・市 比野イベント委員会の支援</p>	<p>市比野温泉杯サッカー大会のうち中学生、少年、少女大会は、支所職員の支援のもと、終了し、大きな経済効果が得られた。 丸山公園人工芝工事入札執行により施工業者が決定した。 委託業者が決定し、市比野温泉地域活性化委員会設立に向けて準備会が開催された。(8月11日)</p>	
<p>市道等の維持修繕</p>	<p>補修箇所の早期発見・早期補修</p>	<p>コミ協と連携し情報の収集 道路パトロールの強化 職員等の情報提供の定着</p>	<p>各自治会、各課より穴ぼこや路肩補修箇所の情報提供があり随時対応した。 側溝浚渫箇所のパトロール強化を図った。</p>	
<p>社会体育の推進と自主運営の強化</p>	<p>地域体育協会専門部の強化 コミスポーツ会員の増</p>	<p>各専門部と連携し指導者の確保・ホッケー教室の開催</p>	<p>9月7日ホッケー祭り、レディースホッケー大会を開催。コミ協・樋脇高校・各団体の協力の下、有意義なスポーツ交流ができた。 コミスポについては、運営が逼迫する傾向にあり、会員及び会費の増を検討する。</p>	
<p>奨学資金・給食費滞納の縮減</p>	<p>新規滞納の防止</p>	<p>戸別訪問徴収の実施、学校・PTAと連携し納入を啓発する</p>	<p>戸別訪問など実施し滞納の縮減に努めた。</p>	
<p>年度中間総括</p>	<p>概ね全職員が健康で職務の遂行に精励し、市民の目線で支所の在り方を考え市民へ満足度の高いサービスの提供に努めているが、人事異動に伴う課体制の機能発揮ができない面が散見された。 産業の振興について、農業振興面では振興施策の情報提供や営農集団等の経営安定対策等の助言指導の成果として、野菜生産大型ハウス施設(5,040㎡)の導入並びに着工に至った。農道等の保安全管理については、地域からの情報や随時見回り速やかな対応を実施している。 観光振興面では、市比野温泉杯サッカー大会へ支所の支援体制及び職員の協力のもと円滑に盛会裏に終了でき地域活性化に相乗効果をもたらした。(少年77チーム、少女5チーム、中学生大会80チーム)</p>			

# 支 所 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

	<p>市比野出張所のあり方検討については、意見集約には至らない状況であり継続して検討する。 小学生を対象としたホッケー祭りに樋脇地域外（東郷）から初めて参加があり、今後、市全域への底辺拡大に一步前進した。 レディースホッケーについては、チームの高齢化が進行し参加チームの確保に苦慮している。ホッケー協会と密接な連携が望まれる。</p>
年度末総括	